

都市再生整備計画 フォローアップ報告書
浦和東部地区

平成29年8月

埼玉県さいたま市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	定住人口	人	3,482	5,600	5,987	確定 ●	○	あり		H 年月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	土地区画整理事業等の進捗により、道路等の都市基盤整備や宅地造成に伴い住宅が供給され、当地区の定住人口は増加した。また、美園支所のほか、美園コミュニティセンター(多目的ホール、レクリエーションルーム等)、美園図書館等の複合公共施設が平成28年1月に供用開始し、行政サービスが充実したため、今後さらなる定住人口の増加が見込まれる。
指標2	浦和美園駅乗車人員	人/日	5,400	6,850	6,469	確定 ●	△	あり ●	8,289	H29年7月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	平成28年1月に供用開始した複合公共施設への来訪や、土地区画整理事業等の進捗に伴い住宅の供給が図られ、当地区の乗車人員は増加した。
指標3	駅周辺など市街地整備の満足度	%	14.6	16.0	19.5	確定 ●	○	あり		H 年月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	国道463号バイパス・大門中野田線交差点や浦和美園駅西口駅前広場の整備により、国道463号バイパスから駅西口へのアクセス性が向上するとともに、都市計画道路美園3号線の整備により、鉄道で分断されていた東西市街地の移動が容易となったことから、市街地整備の満足度の割合が増加した。また、浦和美園駅西口では、バリアフリーに対応した公衆トイレ、西口駅前広場バスシェルターや西口階段を設置し、駅利用者の利便性が向上した。

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1	乗合バスの運行時間	分	28	/	26	確定 ●	/	/	/	H 年月	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	土地区画整理事業による浦和美園駅西口駅前広場と併せてバスシェルターを整備し、乗合バス乗降場が駅東口から西口に移設された。これにより鉄道西側方面に向かう乗合バスの運行距離が短くなり、浦和美園駅から浦和駅(東口バス乗降場)まで運行する乗合バスの運行時間は短縮した。

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために 行う方策	定住促進の持続	土地区画整理事業による都市基盤整備や宅地造成等を実施(2地区がH29.2に換地処分)。	H29.8.1時点で地区内人口は9,012人となっており、事後評価時から3,025人増加した。	引き続き、土地区画整理事業(浦和東部第一地区)による都市基盤整備や宅地造成等を実施し、定住促進を図る。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	道路や公園などの都市基盤整備	土地区画整理事業等による都市基盤整備を実施。	浦和東部第二地区・岩槻南部新和西地区内の都市計画道路・区画道路や近隣公園等が整備された。	引き続き、土地区画整理事業等による都市基盤整備を推進する。
	都市機能のさらなる充実	地区内の都市拠点施設に企業を誘致し、教育施設では新設小・中学校の開校に向けた準備を実施。	都市拠点施設ではホームセンターが開業し、都市機能のさらなる充実が図られた。また、教育施設では新設小・中学校の開校(平成31年4月予定)に向けた準備が進められた。	引き続き、地区内の医療、都市拠点施設用地等への積極的な機能誘致を図る。
	副都心としての地区の魅力や利便性の向上	「みその都市デザイン協議会」と「美園タウンマネジメント協会」とが連携を図り、まちづくり拠点施設である「アーバンデザインセンターみその」を拠点に都市空間の計画・形成や地域サービスの創出・展開を実施。	みその都市デザイン協議会と美園タウンマネジメント協会とが連携し、地区の都市将来像やまちづくりの基本理念を示す「美園スタジアムタウン憲章」を策定した。また、みその都市デザイン協議会において、都市環境づくりの共通指針を示す「みその都市デザイン方針」を策定した。	みその都市デザイン方針を基に、まちづくり拠点施設である「アーバンデザインセンターみその」を拠点として、各戦略・方針の実現に向けて検討を進める。

事後評価シート 添付様式5-③から転記

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項
—	—	—	—
—	—	—	—
—	—	—	—
—	—	—	—